

「道徳の時間」学習指導案

(T1)

(T2)

- 1 学年 自閉症・情緒障害特別支援学級（みどり6組）
第3学年 2名 第6学年 3名 計5名
- 2 主題名 本当の友達 内容項目 B－友情，信頼
- 3 教材名 第3学年 友だち屋 （出典：「3年生のどうとく」文溪堂）
第6学年 知らない間の出来事
（出典：「私たちの道徳小学校五・六年」文部科学省）

4 主題設定の理由

- 友達とは、男女や学年に関係なく、一緒にいると安心感がもて楽しく過ごせる存在である。その場その場の楽しさばかりを求めることなく、友達と深い信頼感をもち、互いに理解し合えることは真の友情に不可欠である。

第3学年	第6学年
中学年では、気の合う友達同士で自分たちの世界を確保し、楽しもうとする傾向がある。しかし、自分の利害に基づく衝突も多く、友達のことを互いによく理解し、信頼し、助け合うことを指導する必要がある。	高学年では、さらに、友達を意識し、仲のよい友達との絆を深めていくが、気の合う者同士で閉鎖的な仲間集団を作る傾向も生まれてくる。気の合わない児童とも協力して学び合う活動を通して互いに磨き合い、高め合ったり、他学年や異性に対しても、信頼を基にして、正しい理解と友情を育て、協力して助け合おうとする子に育てたいと考えた。

- 本学級の児童の実態を把握するため、事前の意識調査を行った。
実態調査から見られる本学級の「友情，信頼」についての実態を次のように分析した。 ※実態調査の結果及び、個に係る実態については別紙参照
- ・自立活動や係・当番で友達と一緒に活動する場や一人一人のがんばりを認め合う場の設定をしていくことにより、会話をすることや一緒に遊ぶことが増えてきた。しかし、まだ自分中心の考えが強く、F君とG君の仲を中心に思いやりに欠ける言動が見られる。
 - ・事前の意識調査では、88%の児童は友達がたくさんいると回答したが、6年Hさんのみ友達は少ないと感じていた。理由は、「話をするのが他の人とできていない。」であった。
 - ・「どんな友達がいてほしいですか。」の質問から、友達は自分に対して「やさしい」ことが大切だとほとんどの児童がとらえている。
 - ・6年G君の友達とのつき合い方で気を付けていることへの回答「友達の都合を考える」

も、自分の興味あることが優先して動く等、実際の行動からは、実践されているとは言い難い。

- 指導にあたって、導入では、3年生と6年生全体で、事前に行ったアンケートの記入の集計を提示し、自分の友達についての意識を見つめさせることで教材につなげる。

展開①では、6年生には教材の内容把握、みかの気持ちの想像をワークシートに記すという間接指導を行う。その間に3年生には、直接指導で変化していくキツネの気持ちから「本当の友達」とは、お金で売買できるものではなく、相手のことを思いやり理解し合ったりしてできる心のつながりが大切であることを理解させる。

展開②では、6年生に直接指導で、みかの気持ちの変化から相手の立場を理解し、尊重して行動することが真の友情につながることを理解させる。3年生には、視点をクマとオオカミに変え、それぞれのキツネへの言動を比べるワークシートで考えを深めさせる。

展開③から終末で、3年生と6年生で、それぞれの学年のねらいにせまるまとめを行った後、同じ発問「本当の友達とは」で意見交流をさせる。6年生には3年生の教材を事前に読ませておくことで、学びを共有し、クラスとして友情を育んでいこうとする意欲を育てたい。

5 他教科等との関連

福山100NEN教育における本校の【21世紀型“スキル&倫理観”】においては、特別支援学級の目標である「自分がされていやなことは友達にせず、されてうれしいことができる子」（他者への思いやり）及び「友達の思いを受け止め、自分の思いや考えを伝えられる子」（コミュニケーション能力）に関連している。

児童は、交流及び共同学習の時間の他に行事として学区民運動会で同学年の友達と活動したり、6年生は修学旅行、3年生は社会見学で集団行動を行ったりしている。みどり学級や交流学級の友達と関わり、互いに相手の立場に立って考え、相手に合わせたり、親切にしたりされたりという経験を積んだ。まずは、みどり学級のこのクラスでの友達関係を広げ、楽しく過ごせるように学級活動、自立活動の時間で友達について学習し、自分以外の友達の立場を考えた言動ができるように指導していきたい。

6 ねらい

第3学年	第6学年
本当の友達とは、お互いに相手の気持ちを考え、相手のことを大切に思い、いやなことはいやだと言えることが大切であることを理解し、友達と互いに、信頼し合おうとする態度を養う。	本当の友達とは、相手の立場を考え、相手の気持ちを尊重して行動することが大切であることを理解し、友達と真の友情を築こうという心情を育てる。

7 準備物 場面絵 短冊 ワークシート 座席表

8 学習過程

学習活動・主な発問「 」 児童の心の動き（・） 指導上の支援（○T1 ●T2） 評価（☆支援に対するもの ★道徳的価値に対するもの）					
教材「友だち屋」		形態	教材「知らない間の出来事」		
3年A男	3年B女		6年F男	6年G男	6年H女
<p>1 「友達」についての事前アンケートをもとに自分の考えを発表し合う。 「どんな友達がほしいですか。」 ○6年生にも発表させ、多様な考えを知らせておく。 ・よくしゃべるしよく笑う。 ・やさしい。</p> <p>○Bさんや、6年生の意見から、教材への方向付けをさせる。 ☆友達について自分の考えを持ち、言うことができたか。</p> <p>○アンケートから発表し教材への方向付けをさせる。 ☆アンケートに書いた自分の考えを言うことができたか。</p>		導入 全体 5分	<p>1 「友達」についての事前アンケートをもとに自分の考えを発表し合う。 「本当の友達とはどんな人だと思いますか。」 ○3年生の発問も考えさせ、これからの学習の方向付けをさせる。 ・趣味が一緒 ・助けてくれる。 ・笑顔になれる。</p> <p>○アンケートから発表し、教材への方向付けをさせる。 ☆友達について自分の考えを言うことができたか。</p> <p>○アンケートから発表し、教材への方向付けをさせる。 ☆友達について自分の考えを言うことができたか。</p> <p>○アンケートから発表し、教材への方向付けをさせる。 ☆大きな声で言うことができたか。</p>		
<p>2 教材「友だち屋」の前段を聞き、キツネの気持ちを考える。 「クマとイチゴを食べている時、キツネはどんなことを考えたでしょう。」 「オオカミとトランプをしている時、キツネはどんなことを考えたでしょう。」 ○無理をしてイチゴを食べたり、びくびくしながらトランプをしたりしているキツネの気持ちをとらえさせる。 ・イチゴは、まずい。 ・お金をもらうんだからしょうがない、あと少しがまんをしよう。</p> <p>○表情絵を描かせる。 ☆困った表情を描いてキツネの気持ちを言えたか。</p> <p>○ワークシートに考えを書かせる。 ☆キツネの気持ちを想像して書き、言えたか。</p>			展開① 三年直接 ・六年間接 12分	<p>2 教材「知らない間の出来事」を読み、ワークシートに書きこむ。 「教材を読んでワークシートに書き込みましょう。」 ○事前に、読み聞かせの時間等で範読を聞かせておく。 ●登場人物や出来事をとらえながら、読み取り、できるだけわくわく書くように声かけする。みかの最後の電話の内容を想像させる。 ・もしもし、あゆみさんわたしのメールのせいで悲しい思いをさせてごめんね。 ・わたしかんちがいのせいで、ごめんね。</p> <p>○読み取りのワークを用意しておく。 ●早く終わったら授業ワークや「私たちの道徳」にも取り組ませる。 ☆みかの電話での言葉があゆみへの謝罪の言葉になっているか。</p> <p>○読み取りのワークを用意しておく。 ●書かれているページを示す。 ●読み取りワークの進み具合で、先にみかの電話の言葉や授業ワークに取り組ませる。 ☆みかの電話での言葉があゆみへの謝罪の言葉になっているか。</p> <p>○読み取りのワークを用意しておく。 ●早く終わったら授業ワークや「私たちの道徳」にも取り組ませる。 ☆みかの電話での言葉が、理由とともに謝罪の言葉になっているか。</p>	
<p>3 教材「友だち屋」の後段を聞き、キツネの気持ちを考える。 「キツネはどんなことを考えながら帰ったのでしょうか。」 ○オオカミと本当の友達になれたキツネのうれしい気持ちに共感させる。 ・オオカミと友達になれてうれしい。 ・お金をもらわないで本当の友達をたくさんつくろう。</p> <p>○気持ちの違いを表情絵で表現させる。 ☆楽しそうな表情を描いて、キツネの気持ちを言えたか。</p> <p>○ワークシートにどう気持ちが変わったか書かせる。 ☆気持ちの変化を書いて、キツネの気持ちを言えたか。</p>		展開② 三年間接 ・六年直接 12分		<p>3 教材の挿絵を見て9月1日のみかの気持ちを考える。 「あゆみの家の電話番号が書かれたメモを小さく丸めてポケットにつっこんだ時、みかは、どんなことを考えたのでしょうか。」 ○相手の立場を考えない行動が、あゆみを悲しませるきっかけとなったことをとらえさせる。 ・携帯電話を持っていないことの驚き。 ・連絡が来ないと言う思い込み。</p> <p>○ワークシートをもとに発表させる。 ☆みかの自分中心の考えを発表できたか。</p> <p>○ワークシートに書かれていなくても発表させる。 ☆みかの自分中心の考えを発表できたか。</p> <p>○ワークシートをもとに発表させる。 ☆みかの自分中心の考えを発表できたか。</p>	
<p>4 教材「友だち屋」を読み、ワークシートに書きこむ。 「もう一度教材を読んでワークシートに書き込みましょう。」 ●クマやオオカミの言動を抜き出すことで、それぞれのキツネのことをどう思っていたか書かせる。</p> <p>○まとめのワークを用意しておく。 ●書かれているページを示す。 ☆クマがキツネの気持ちを考えていないことやオオカミがお金でなくミニカーをわたした理由に気づいたか。</p> <p>○まとめのワークを用意しておく。 ●書かれているページを示す。 ☆キツネにわたしたものが、クマとオオカミで違うことに気づき、その理由を自分なりに考えることができたか。</p>			展開③ 全体 10分	<p>4 教材の挿絵を見て9月2日のみかの気持ちを考える。 「電話番号の書いてあったメモ用紙をきれいにもどす時、みかは、どんなことを考えたのでしょうか。」 ○友情を深めるためには、相手の立場を考えて行動することが大切だと気付かせる。 ・軽い気持ちでしなければよかった。 ・あゆみに悪かった。謝りたい。 ・謝って、本当に友達になりたい。</p> <p>○ワークシートをもとに発表させる。 ☆あゆみの立場を考えなかったことへの後悔・謝罪を発表できたか。</p> <p>○ワークシートに書かれていなくても発表させる。 ☆あゆみの立場を考えなかったことへの後悔・謝罪を発表できたか。</p> <p>○ワークシートをもとに発表させる。 ☆あゆみの立場を考えなかったことへの後悔・謝罪を発表できたか。</p>	
<p>5 教材「友だち屋」から考えをまとめた後、全員で意見の交流をする。 「本当の友達とは、どんな友達のことなのでしょう。」 ○友達の意見を、自分の意見と比べながら聞かせ、今後の具体的な行動について自分の意見を発表させる。 ○キツネに対するクマとオオカミのちがいを6年生も交えて考えさせる。 ・相手の気持ちを思っ心つながりができると本当の友達になる。 ・本当の友達がたくさんできるように、相手の気持ちを考えて声をかけるようにしたい。 ★「本当の友達」について、友達と互いに理解し、信頼し合おうとする態度を養うことができたか。</p>		終末 6分		<p>5 教材「知らない間の出来事」から考えをまとめた後、全員で意見の交流をする。 「本当の友達とは、どんな友達のことなのでしょう。」 ○「友だち屋」の内容も考えながら、真の友情について そのよさや、みかの失敗の原因から不十分な友情について自分の意見を発表させる。 ○教室に置いておく「おれたち、ともだち！シリーズ」の絵本についても想起させる。 ・相手の気持ちを考え、気持ちが通じ合うのが本当の友達。 ・本当の立場には相手の立場を考えて、行動することが大切。 ★相手の立場を理解し、尊重して行動することで、真の友情を築こうという心情を育てることができたか。</p>	
<p>6 自分の振り返りを交流する。</p>			<p>6 自分の振り返りを交流する。</p>		

9 板書計画

友だち屋

マの絵
友だち屋!
友だちと食べるイチゴはおいしい

・あと少しがまんをしよう。
早く帰りたいなあ

・イチゴは、まずいな。食べたくないけれど、友達なのだから食べなければ。

・オオカミと友達になれるう。
・**本当の友達**をたくさんつくるう。

表情絵

表情絵

表情絵

友だち屋
キツネの絵

オオカミの絵

オオカミの絵

スキップしながら

キツネの絵

キツネとオオカミの絵

オオカミの絵

おい、キツネのランプの相手をしろう

友達からお金をとるのか。それが本当の友達か?

ミニカーもらってくれるか

あさってもな

あしたもきていいの?

ありがとう

本当の友だち

相手の気持ちを考え、気持ちが通じ合うのが**本当の友達**。

本当の友達がたくさんできるように、相手の気持ちを考えて声をかけるようにしたい。

どんな友達がほしいですか。

よくしゃべるい、よくわらう、やさしい

本当の友友達とはどんな人だと思えますか。

しゅみが一緒、助けてくれるえがおになれる

知らない同の出来事

九月一日

あゆみの絵

・うれしい
・楽しく
・やっていけそう

みかに声をかけられる

九月二日

メール
今度転校してきたあゆみさんは、前の学校で仲間外れになっていたの、この学校に転校してきたんだって。

帰りの会で「悲しいです」と発言する。

あゆみが携帯を持っていないことへの驚き。
・連絡が出来ないと言う思い込み。

あゆみが携帯を持っていないこと知る

・友達になれそう。
・趣味が同じで仲良くなれそう。

メール
今度の転校生、携帯持っていないんだって。友達あまりいないみたい。これは推測だけど。

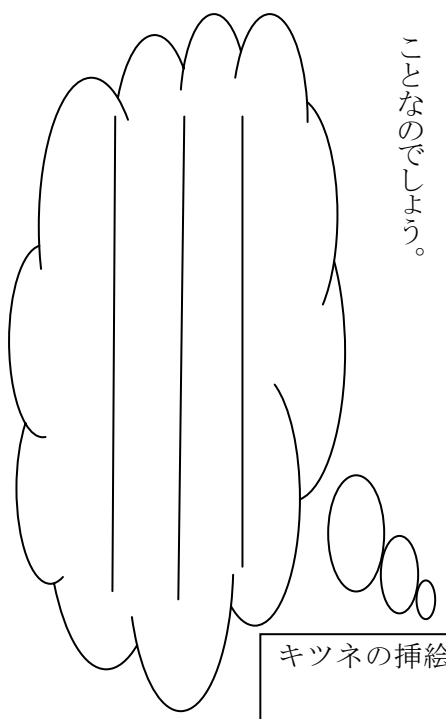
みかの絵

・軽い気持ちで送らなければよかった。
・あゆみに悪かった。謝りたい。
・謝って、**本当の友達**になりたい。

あゆみの家に電話する。

友だち屋 氏名

本当の友達とは、どんな友達の
ことなのでしょう。



キツネの挿絵

自分の考えをもつことができた。

4 3 2 1

今日の授業で新しい発見があった。

4 3 2 1

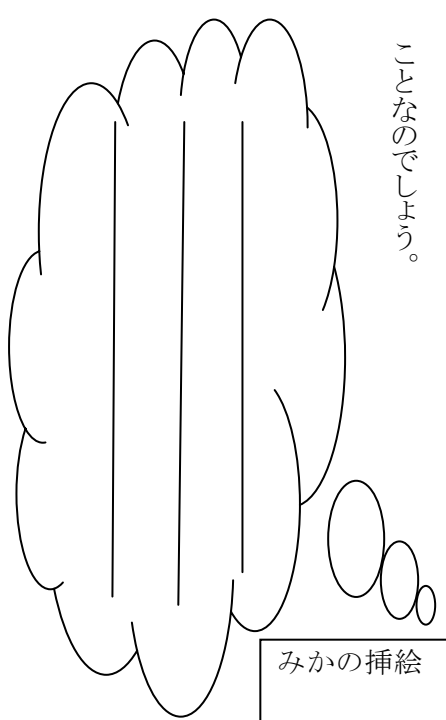
友達の考えを聞いて、「なるほど」と思うことがあった。

4 3 2 1

★この授業で感じたこと、新しく気付いたこと、発見したこと、「なるほど」と思ったことなどを書きましよう。

知らない間の出来事 氏名

本当の友達とは、どんな友達の
ことなのでしょう。



みかの挿絵

自分の考えをもつことができた。

4 3 2 1

今日の授業で新しい発見があった。

4 3 2 1

友達の考えを聞いて、なっとくすることがあった。

4 3 2 1

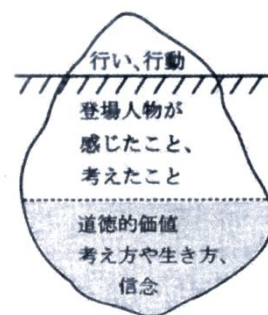
★この授業で感じたこと、新しく気付いたこと、発見したこと、納得したことなどを書きましよう。

(3・6年) (みどり6)組

内容項目 B-友情

教材名 第3学年 友だち屋

第6学年 知らない間の出来事



【道徳的価値の自覚を深める指導にするために】

	3年	6年
行い 行動	<ul style="list-style-type: none"> ・キツネは、「友だち屋」を作って、クマとイチゴを食べた。 ・オオカミとトランプをした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみが携帯電話を持っていないことから、別の友達に向けてあゆみは友達が少ないのではと推測でメールをする。 ・次の日、メールが学級に広まったことで、前日とは違う友達の雰囲気を感じたあゆみは、勇気を出して帰りの会で事実と違うということを発言する。 ・自分のメールがきっかけであることに気付いたみかは、あゆみの家に電話をかける。
登場人物が 感じたこと 考えたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・オオカミと友達になれてうれしい。 ・お金をもらわないで、本当の友達をたくさんつくろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽い気持ちでメールを送らなければよかった。 ・あゆみに悪かった。謝りたい。 ・謝って、本当に友達になりたい。
道徳的価値 考え方 生き方 信念	<ul style="list-style-type: none"> ・「本当の友達」とは、お金で売買できるものではなく、相手の気持ちを思いやることができる心のつながりが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場を理解し、尊重して行動することが真の友情につながる。